

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら札幌月寒教室

保護者等数(児童数) 13(13) 回収数 10 割合 77%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8件	1件	0件	0件		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8件	0件	0件	2件		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8件	0件	0件	1件		見守りカメラを設置し相談室から訓練室の様子を見ることを可能とする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10件	0件	0件	0件		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10件	0件	0件	0件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8件	0件	0件	2件		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10件	0件	0件	0件		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9件	0件	0件	1件		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4件	0件	3件	3件	・まわりに交流がないため。	コロナ禍で難しい状況下にあるが、可能な方法を引き続き模索する。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10件	0件	0件	0件		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8件	0件	1件	1件		より分かり易い説明ができるよう努めていく。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3件	0件	2件	5件		事業所新聞の更なる充実を図り、保護者様にお役立てる情報を発信していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	10件	0件	0件	0件		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10件	0件	0件	0件		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	0件	4件	5件	・父母の会、保護者会など、参加したことがないのでわかりません。	コロナ禍で難しい状況下にあるが、可能な方法を引き続き模索する。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10件	0件	0件	0件		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10件	0件	0件	0件		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10件	0件	0件	0件		
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9件	0件	0件	1件			
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7件	0件	1件	2件		面談時などに相談室に設置してある運営規程などを閲覧いただけるよう配置などを工夫する。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6件	0件	0件	4件		
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8件	1件	1件	0件	・「今日、こぼんはうす？」と聞いてきたりして、楽しみにしている様でした。 ・子供の性格上集団行動が苦手な為行き渋りが発生。しかし行ってしまえば活動を楽しんでいて親にも話す様子が見られる。	
	23	事業所の支援に満足しているか	10件	0件	0件	0件	・満足しています！ ・いつも色々工夫をして楽しく療育をして下さり、ありがとうございます！	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 11月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら札幌月寒教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9件	0件	活動内容によって適切になるように部屋分けしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	9件	1件	基準以上の人員配置を常に行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10件	0件		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10件	0件		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9件	1件		出勤日数が少ないパート職員を含めた多くの職員が参画できる環境づくりに努める。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10件	0件		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9件	0件		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件	2件	本部SVの評価結果などを基に業務改善を実施している。	社内掲示板などの内容を確認していない職員へ再度周知を行う。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10件	0件	研修情報を社内掲示板に掲載し募集を行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9件	0件		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8件	1件	こぼんはうす標準のアセスメントツールを使用している。	標準ツールの把握をしていない職員へ再度周知を行う。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10件	0件		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9件	1件	より具体的な課題を設定しその結果を記録に残している。	支援計画の内容を把握をしていない職員へ再度周知を行う。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8件	1件	活動プログラム案の募集を行っている。	パート職員や専門職が意見を出しやすい仕組みを検討する。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8件	1件	定番の活動は固定化しないよう実施時期を分散している。	新しい活動内容を取り入れていけるよう職員が意見をより出しやすい環境作り引き続き努める。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10件	0件		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10件	0件		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9件	1件	時間が取れない場合はビジネスチャットを活用し共有している。	参加意識の低い職員にビジネスチャットの積極的活用を促す。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9件	1件		ルールに基づいた記録を行っていない職員へ再度周知を行う。
関係機関や保護者	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9件	1件		モニタリングや計画見直しの内容を把握できていない職員へレベルに合わせたわかりやすい説明を行えるよう努める。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9件	1件		担当者会議に参加していることを把握していない職員に対して、回覧されている会議資料や議事録の確認実施を再度周知する。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9件	1件	センターや地域支援マネージャーと連携を図っている。	関係機関と共有している情報を把握していない職員へ再度周知を行う。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4件	3件	※該当児童なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4件	3件	※該当児童なし	
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8件	2件	相談支援員を通して保育園の先生にも担当者会議に参加して貰い、情報共有を図っている。	関係機関と共有している情報を把握していない職員へ再度周知を行う。	

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	2件	支援学校と計画書の共有を行っている。	関係機関と共有している情報を把握していない職員へ再度周知を行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6件	2件	センターや地域支援マネージャーと連携を図っている。	関係機関と共有している情報を把握していない職員へ再度周知を行う。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1件	7件		コロナ禍で難しい状況下にあるが、可能な方法を引き続き模索する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1件	8件	コロナ禍でオンラインや持ち回り開催となっているが継続して参画している。	社内掲示板の会報などを確認していない職員へ再度周知を行う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9件	0件		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2件	6件		事業所新聞の更なる充実を図り、保護者様にお役に立てる情報を発信していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10件	0件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10件	0件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9件	0件		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1件	6件		コロナ禍で難しい状況下にあるが、可能な方法を引き続き模索する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9件	0件	ビジネスチャットを利用し、職員間でタイムリーな情報共有を行い迅速に対応できる連絡体制を整えている。またメール配信システムを利用し迅速に利用者へ情報発信を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8件	0件	事業所新聞の月1回の発行を実施している。	
非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9件	0件		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9件	0件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1件	6件		コロナ禍で難しい状況下にあるが、可能な方法を引き続き模索する。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8件	0件	社内掲示板で閲覧可能な状態にしている。	必要に応じて随時追加・変更を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7件	1件	年2回の防災訓練をプログラムに組み込んでいる。	・防災訓練の実施状況を把握していない職員へ再度周知を行う。 ・防災用品の定期的な見直しを行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	9件	0件	発作などの情報は終礼やビジネスチャットで必ず共有するようにしている。	
非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8件	1件	給湯室に児童のアレルギー情報を貼りだしている。	正確な情報把握ができていない職員へ再度周知を行う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9件	0件		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8件	1件	年1回の研修実施に加え、研修資料を社内掲示板で閲覧可能な状態にしている。	正確な情報把握ができていない職員へ再度周知を行う。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	2件	※該当児童なし	